

議員提出議案第31号

サンフランシスコ市との姉妹都市提携解消を求める決議案

本案を別紙のとおり提出する。

平成29年12月12日

大阪市会議長 山下昌彦様

提出者

大内啓治	辻淳子	木下誠	広田和美
出雲輝英	今井アツシ	飯田哲史	上田智隆
高見亮	岡崎太	ホンダリエ	不破忠幸
杉山幹人	改発康秀	東貴之	井戸正利
片山一步	田辺信広	丹野壮治	大橋一隆
杉村幸太郎	伊藤良夏	市位謙太	守島正勝
藤田あきら	竹下隆	奥野康俊	徳田勝希
金子恵美	佐々木りえ	藤岡寛和	宮脇
岡田妥知	高山美佳		

(別紙)

サンフランシスコ市との姉妹都市提携解消を求める決議

2017年11月22日、サンフランシスコ市のエドウィン・リー市長は、民間団体が建てた慰安婦像の寄贈を受ける決議案に署名し、像は同市の所有となった。

吉村市長は慰安婦像の寄贈の受け入れに反対し、これまでに公開書簡の送付や、面会の申し入れなどを行ってきたが、取りつく島もないサンフランシスコ市の対応は甚だ遺憾である。

慰安婦問題に関しては、2015年12月に日韓両政府において、日本が多数の女性の名誉と尊厳を傷つけたとして責任を表明し、この問題を最終的かつ不可逆的に解決すること、そして今後国際社会において互いに非難・批判することを控えることで合意したところである。しかしながら、今回寄贈された慰安婦像の碑文には「性奴隷にされた何十万人の女性」「大多数は囚われの身のまま命を落とした」など日本政府の見解とも全く異なる記述が散見されており、本市としてサンフランシスコ市の公有化は到底認められるものではない。

実際に2017年11月21日、安倍首相は衆議院代表質問に対する答弁で「わが国政府の立場と相いれず、極めて遺憾」と述べ、サンフランシスコ市長に議案の執行への拒否権を行使するよう政府として申し入れたことを明らかにしている。

今回のサンフランシスコ市の対応の経過を見るに、慰安婦像の寄贈受け入れをやめるべきという姉妹都市としての要請、そして日本国としての要請は全く無視されたと言っても過言ではない。このような対応はこれまで60年もの長きにわたり築かれてきた両市の友好関係を根底から覆すものであると言わざるを得ない。

よって本市会は、サンフランシスコ市との姉妹都市提携の解消を求めるものである。

以上、決議する。

平成29年12月 日

大阪市会